



稲穂のさとし

あたりまえのことがあたりまえにできる学校

吉見町立吉見中学校
学校だより 第6号
令和7年9月1日

文責 校長 橋本 慎也

「判断」と「決断」の違いから学ぶこと

私たちは、日常の様々な場面で、「どうしようか」「何をすべきか」といった問いを繰り返しながら生活しています。例えば、朝のひとときでも、「今日はどんな服を着ようか」「長袖か、半袖か」「パンに何か塗るのか」「塗るならジャム？バター？」といった小さな問いとそれに対する選択が繰り返されています。実は、人は、判断と決断を繰り返しながら、1日におよそ35,000回意思決定をしているとも言われています。

さて、私たちがよく使う「判断」と「決断」という言葉。一見似ているようですが、意味は大きく異なります。

都内の私立高校である開成高校の柳沢幸雄元校長は、新型コロナウイルス感染症の流行で休校期間中に行われた卒業式の式辞で次のように語っています。「意思決定は判断、及び決断によってなされる。判断とは、多くの選択肢を論理的に比較検討すれば、一つの解に到達する場合に行われる。一方で決断とは、情報やデータが不足している場合でも、緊急を要する状況下で行われる意思決定である。…」

中学生は、友人関係や部活動、進路、勉強方法など様々な悩みに直面しています。これらに向き合うとき、まず必要なのは「判断」です。情報を集めて比較し、「どれがよいか」を冷静に見極める力です。しかし、判断だけでは、物事が動かないこともあります。大切なのは、その先にある「決断」です。決断とは、自分の意志で「やる！」と選び、行動に移す力とも言えます。未経験・未体験のことがあったとき、それに向かって「自分の選んだ道を進もう」と覚悟を持つことこそが、人生を切り拓く第一歩になるのではないのでしょうか。



もちろん、決断するには勇気がいります。決断の結果が失敗に終わることもあるかもしれませんが、しかし、その経験が、自分の力となり、成長につながります。小さな決断の積み重ねは、いずれ大きな挑戦への土台となります。

学校生活は、判断と決断の機会にあふれています。一つ一つの機会を大切に、自らの選択した道を力強く歩めるよう、私たちも精一杯支援してまいります。



吉見中生の活躍



○全日本中学校陸上競技選手権大会（沖縄県沖縄市）

男子 200m 大津 一恭 22 秒 58（自己ベスト更新）

○学校総合体育大会県大会

陸上部 男子 200m 大津 一恭 22 秒 63 ※全国大会出場

男子 400m 榎田 奏太 53 秒 71

佐々木 優翔 58 秒 10

男子 800m 富岡 祐仁 2 分 06 秒 17

女子 800m 木田 花楓 2 分 35 秒 99

男子 4 × 100m リレー 45 秒 97

金井 日駈・榎田 奏太・富岡 祐仁・大津 一恭

女子 1500m 石黒 光里 5 分 16 秒 07

女子砲丸投げ 根本 琉沙 6 m99

バドミントン部

団体戦 2 回戦

久保田 怜・須永 莉咲・小林 樹奈・金久保仁菜

川端 明来・宅間 琴音・高柳 虹奈・飯塚 望桜

個人戦W 1 回戦 小林 樹奈・金久保仁菜

男子ソフトテニス部

団体戦 ベスト16

松本 空也・新井 祥太・三上 貴之・加藤 有陽

白庭 虎汰・大塚 甲斐・鈴木 結空・吉田 宗太郎

個人戦W ベスト16 三上 貴之・加藤 有陽

卓球部 個人戦S 1 回戦 雨宮 慧人

硬式テニス

個人戦W 1 回戦 堀之内景虎・関根 理思



○埼玉県吹奏楽コンクール西部地区大会

吹奏楽部

中学生Bの部 金賞(県大会出場)

○埼玉県吹奏楽コンクール県大会

吹奏楽部

中学生Bの部 金賞(西関東大会出場)



○防犯ポスターコンクール地区大会

美術部

入選 北村 羽麗 中原 雅姫

御礼（PTA資源回収）

7月5日(土)に、本校PTAによる資源回収を実施しました。

会員の皆様には、早朝より御対応いただきまして、誠にありがとうございました。また、地域の皆様も、本校のために多くの資源提供をありがとうございました。

収益については、子供への学習環境を整えていくために、有効に活用させていただきます。

このようなPTA行事は、教員と保護者、そして地域の方とのコミュニケーションが図れる大切なものと考えています。これからも三位一体となった教育活動を展開していく所存ですので、引き続きの御支援をよろしくお願いいたします。

